

2024年6月30日(日)

中国新聞 SELECT 掲載



「またすぐにキルギスに戻ってくるからね」。そう言って同僚たちと約束して、新型コロナウイルス禍のため任期途中でキルギスを離れて3年半がたった。現地に残したものが少なかったという後悔が残ったま



キルギス

(2023年10月～24年4月)

吉本真子さん(28)

広島県北広島町出身

遠慮ない助け合いの仲

目よりももっと活動先に貢献するために成長しようとJICA中国などで社会人経験を積んだ。そのかいがあつてか、2

回目の派遣は、1回目よりも同僚やホームステイ先の家族とのコミュニケーションが円滑にできて、現地の人たちとても良い関係を



心の支えになってくれたホストファミリーと(2列目中央)

築くことがでなくなる。言わなくなつてきた。他の事で助けてくれたらいいんだよ。ホストファミリーからそう学んだ。

2回の派遣でキルギス人から学んだことは「ありがたいではなく、同僚、生徒、過ぎないこと

だ。仕事や家族、どんな形の集団でも当たり前のように助け合う。仕事のちよつとした頼まれ事や、家での晩ごはんまで、1人でやらずにすぐに助けを求めるし、助けに応えて

いる。あまりに「助け合い」は頻発した。「毎度ありがとう」と言つと、ありがたみがた。頼った。こういった遠慮のない助け合いを行いな

らも、相手との仲を深めることができるんだと悟った。